

授業科目(ナンバリング)	英語科教育法 I (QB121)	担当教員 担当形態	田中 誠 単独						
教員免許状取得のための選択の別	①英語(中):必修 ②英語(高):選択	単位数	2単位	開講年次	1年	展開方法	講義	開設時期	後期
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 英語)								
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)								
授 業 の ね ら い								アクティブ ラーニング の 類 型	
<p>中学校の英語教育の基軸となる学習指導要領及び教科用図書(教科書)について深く理解するとともに、学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について理解し、高等学校の学習指導要領との内容の違いを理解することができる。学習到達目標に基づく各学年の年間指導計画・単元計画・各時間の指導計画及び授業の組み立て方について理解するとともに、学習指導案の作成方法を身に付ける。さらに教材や ICT の活用方法を知るとともに、英語による授業展開や ALT 等とのチーム・ティーチングの方法について理解する。</p>								①⑤	
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語(英語)の学習指導要領について理解している。 ・学習到達目標に基づく授業の組立てについて理解し、学習指導案を作成することができる。 ・教材及び ICT の活用について理解し、授業指導に生かすことができる。 					・レポート		50%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高校の外国語(英語)の教科書について理解している。 ・学習指導要領の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力について理解している。 ・毎回の授業のポイントを簡潔にまとめることができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表 ・毎回の課題 		10% 10%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・指名されなくても、自らの意思で適切な発言をすることができる。 					・観察法による評価		10%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT 等とのチーム・ティーチングについて理解し、授業指導に生かすことができる。 					・受講者の発表		10%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> ・教室には、多様性のある学生がいることを理解した上で、「学習指導案」を作成することができる。 					・レポート		10%	
出 席						受験要件			
合 計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
<p>毎回の課題は、授業後に manaba(ポートフォリオ)に授業で学んだ事項のまとめを提出。レポートは、学期末に「学習指導案」を提出。また、授業中の発言内容や授業への取り組みを評価する。レポートに対しては改善のフィードバックを manaba 上で行う。</p>									
授 業 の 概 要									
<p>講義を中心とするが、学習指導案の作成・討論など演習形式の授業内容も取り入れる。また、ビデオ教材なども取り入れ、具体的な指導方法を分かりやすく学んでいく。英語の授業をするための必要事項は、多岐にわたる。毎回の課題にしっかり取り組み、基本的な授業における知識と技能を習得してもらいたい。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>									
教 科 書 ・ 参 考 書									
<p>教科書：『改訂版 英語科教育実習ハンドブック』 米山朝二 他 (大修館書店) <i>New Horizon 2</i> (中学2年生用の英語教科書) (東京書籍) <i>Crown English Communication II</i> (高校2年生用英語教科書) (三省堂) 「学習指導要領」は文部科学省のHPを使用。</p> <p>参考書：文部科学省『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 外国語編』、 文部科学省『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 外国語編』</p> <p>指定図書：『教育実習生のための学習指導案作成教本 英語科(改訂版)』 教育実習を考える会 (蒼丘書林)</p>									

授業外における学修及び学生に期待すること			
授業だけでは、教師に必要な知識や技能を全て習得することは難しいので、授業中に指示する参考図書などを積極的に読んでくれることを期待する。「教えることは、学ぶことである」ということを理解して欲しい。			
回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	本講義の意義を理解し、教員免許を取得する意義について考える。(初級編) 学習指導要領の3つの資質・能力について、『中学校学習指導要領』の解説。	『中学校学習指導要領』を熟読する。今日の講義の振り返りを manaba にまとめる。
2	授業準備	『高等学校学習指導要領』の解説。教科指導の準備のために必要な事柄、教材研究、教育実習前に読んでおきたい本などについて学ぶ。(初級編)	『高等学校学習指導要領』を熟読する。第3章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
3	中学校・高等学校の教科書の理解、授業計画(初級編)	中学校・高等学校の教科書を理解した上で、学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について学び、それらに基づく授業の組み立て方を学ぶ(初級編)。	学習到達目標、単元計画、について調べる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
4	指導案の作成(初級編)	前回学んだことを基にした指導案の書き方について学ぶ。特に、指導案の作成手順、その留意点、板書計画を中心に。(初級編)	第4章、5章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
5	Warm-up と Review	英語のインタラクティブを活用した Warm-up と Review について学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める。(初級編)	第7章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
6	文法・文型の導入	文法・文型の導入方法について学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める。(初級編)	第8章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
7	文法・文型の練習と発展活動	文法・文型の練習と発展活動について学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める。(初級編)	第9章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
8	文字の指導、語彙の導入 フラッシュカード	文字の指導、語彙の導入と指導について学ぶ。フラッシュカードの使用法を学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める。(初級編)	第10章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
9	読解指導	本文の読解指導について学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める。(初級編)	第11章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
10	教育用具・機器(ICTを含む)の活用	黒板、ピクチャーカード、ICT機器等の教室での活用方法について学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める(初級編)	第12章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
11	教室管理 生徒の特性・習熟度に対応した授業マネジメント	教室管理の方法、生徒の特性・習熟度に対応した授業マネジメントの基本事項について学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める。(初級編)	第13章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
12	ALT とのチーム・ティーチング(初級編)	チーム・ティーチングの方法について、また、教室英語について学ぶ。ビデオ教材を使用し、実際の授業を見ることで理解を深める。(初級編)	第14章を読んでくる。講義の振り返りを各自 manaba にまとめる。
13	3つの資質・能力を理解した上での授業診断・評価	自分の授業の授業診断・評価。学習指導要領に基づき、単なる英語力だけではなく、3つの資質・能力の伸びについても診断・評価する方法を学ぶ。(初級編)	第15章を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
14	教材研究(1)	授業の教材研究の実例とその方法について、何をどう調べればいいのかを理解する。英語で英語の授業をするには、教科書をどういう視点で見て、教材研究をすればいいのかを学ぶ。(初級編)	Unit 1 を読んでくる。講義の振り返りを manaba にまとめる。
15	教材研究(2)、まとめ	授業のために教材研究したものをどう授業に活かしていくのかを学ぶ。(初級編) 前期のまとめ。	Unit 2 後半を授業をする視点で、読みこんでくる。講義の振り返りを各自 manaba にまとめる。

